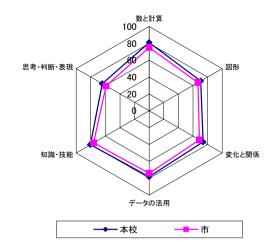
宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【算数】領域別/観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

_★本午及の巾と本佼の认法					
		本年度			
		本校	市	参考値	
領域別	数と計算	80.9	75.1	75.8	
	図形	70.7	66.8	68.3	
	変化と関係	73.9	68.8	65.0	
	データの活用	78.2	74.1	63.6	
観点別	知識•技能	80.5	76.1	75.8	
	思考·判断·表現	64.3	59.0	51.7	
11/4	, t, , , , , , , , , , , , , , , , , ,				





★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

★指導の工夫と改善 O良好な状況が見られるもの ●課題が見られ					
領域	本年度の状況	今後の指導の重点			
数と計算	正答率は市平均を大きく上回る。(+5.8ポイント) 〇少数や分数の計算の問題では、どれも市平均を上回る。 〇分数の計算の片方の分母にそろえる通分をする計算の正答率は、市平均を大きく上回る。(+15.1ポイント)	・図を見て小数倍の文章問題を解くときに、2つの数量の間に 比例関係があることをしっかり捉えさせながら、基準量を1と見 たときにいくつにあたるかを考えさせるようにする。			
図形	正答率は市平均を上回る。(+3.9ポイント) ○高さが図形の外にある三角形の面積を求める問題 の正答率は、市平均を大きく上回る。(+12.0ポイント) ○2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求める問題の正答率は、市平均を大きく上回る。(+9.8ポイント) ●既習の図形から線対称でも点対称でもある図形を選ぶ問題の正答率は、市平均を下回る。(-3.3ポイント)	・公式に当てはめて計算するだけでなく、式の意味を説明させたり、公式を活用する問題を取り入れたりして引き続き指導していく。 ・図形の移動を視覚的に捉えられるようにデジタル教材や具体物を活用する。			
変化と関係	正答率は市平均を大きく上回る。(+5.1ポイント) ○表から面積と数の割合を求め、混み具合を考察する 問題の正答率は市平均を大きく上回る。(+10.1ポイント) ●基準量と比較量から割合を求める問題の正答率は 53.6%と低い。	・割合を求める問題では、文章を読んで基準量と比較量をそれぞれ明確に捉えるような練習を繰り返し学習していく。			
データの活用	正答率は市平均を上回る。(4.1ポイント) ○値に0があり,答えが少数になる分離量の平均を求める問題の正答率は,市平均を大きく上回る。(+8.4ポイント) ●最頻値を求める問題の正答率は,市平均を大きく下回る。(-7.4ポイント)	・児童の言葉でまとめを書かせるなど、算数用語の定着を図る。 ・計算をするだけでなく、問題の概要を捉えるために公式を活用するなど、生活に密着する問題を意図的に取り入れていく。			